

2022年度 第1四半期 決算説明会

2022年8月5日

ブラザー工業株式会社

常務執行役員財務担当 伊藤 敏宏

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2022年度 第1四半期（4月-6月）実績

為替のプラス影響に加え、主にP&S事業が堅調に推移し、増収
事業セグメント利益は、主にP&S事業における価格対応の効果があったものの、
部材・物流コストの高騰に加え、販管費が増加したことにより、減益

◆ **売上収益** **1,997億円/+14.8%**（前年同期比）

- ✓ P&S事業は、為替のプラス影響に加え、製品本体及び消耗品の堅調な推移により大幅増収
- ✓ マシナリー事業は、工業用ミシンのアパレル向け設備投資需要は堅調に推移したものの、産業機器が部材の供給不足による生産制約の影響を受け、事業全体で減収

◆ **事業セグメント利益** **248億円/ -5.3%**（前年同期比）

2022年度 通期業績予想

為替前提、セグメント内訳も含め、前回予想（2022年5月11日公表）から変更なし

2022年度 第1四半期業績

為替のプラス影響に加え、主にP&S事業が堅調に推移し、増収となる事業セグメント利益は、主にP&S事業における価格対応の効果があったものの、部材・物流コストの高騰に加え、販管費が増加したことにより、減益となる

単位：億円

	21Q1	22Q1	増減	増減率 () は為替影響 除く増減率
売上収益	1,740	1,997	257	14.8%
事業セグメント利益	262	248	▲14	-5.3%
事業セグメント利益率	15.0%	12.4%		(4.8%)
その他の収益・費用	3	2	▲1	
営業利益	265	250	▲14	-5.5%
営業利益率	15.2%	12.5%		
税引前利益	267	253	▲14	-5.4%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	186	174	▲12	-6.6%
USD	110.00	129.04	19.04	
EUR	131.78	138.24	6.46	

2022年度第1四半期 事業セグメント別実績

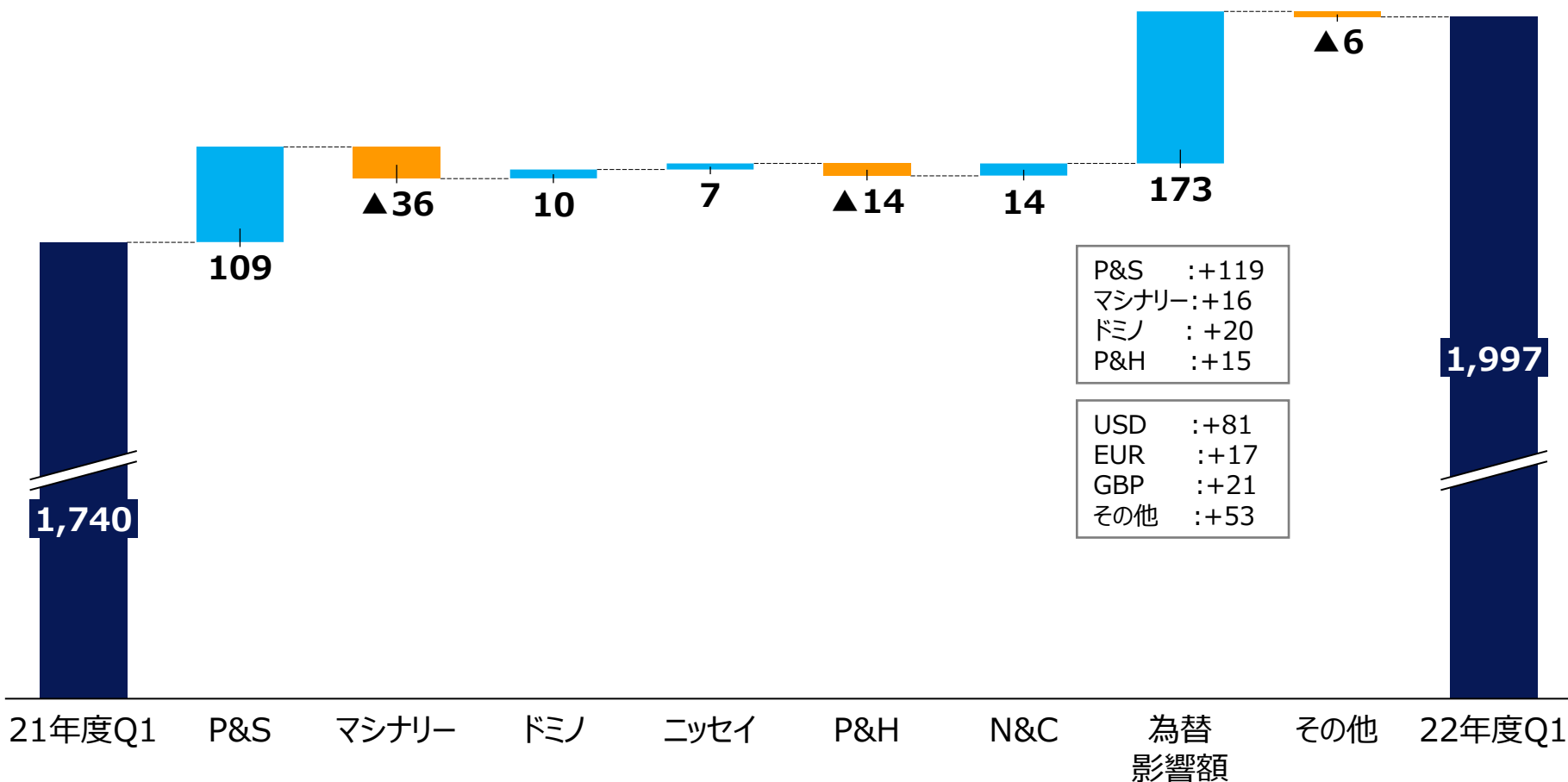
単位：億円

	売上収益			事業セグメント利益			営業利益		
	21Q1	22Q1	増減	21Q1	22Q1	増減	21Q1	22Q1	増減
P&S	991	1,218	228	164	179	15	163	169	6
マシナリー	254	234	▲19	47	21	▲26	46	24	▲22
ドミノ	207	237	30	21	16	▲4	21	20	▲1
ニッセイ	50	60	10	5	6	1	5	7	1
P&H	141	142	1	31	20	▲11	31	20	▲11
N&C	70	84	15	▲8	3	11	▲3	7	10
その他	28	22	▲6	2	3	1	2	3	1
合計	1,740	1,997	257	262	248	▲14	265	250	▲14

※セグメント間取引消去額は含めておりません。

為替のプラス影響に加え、主にP&S事業が堅調に推移したことにより増収となる

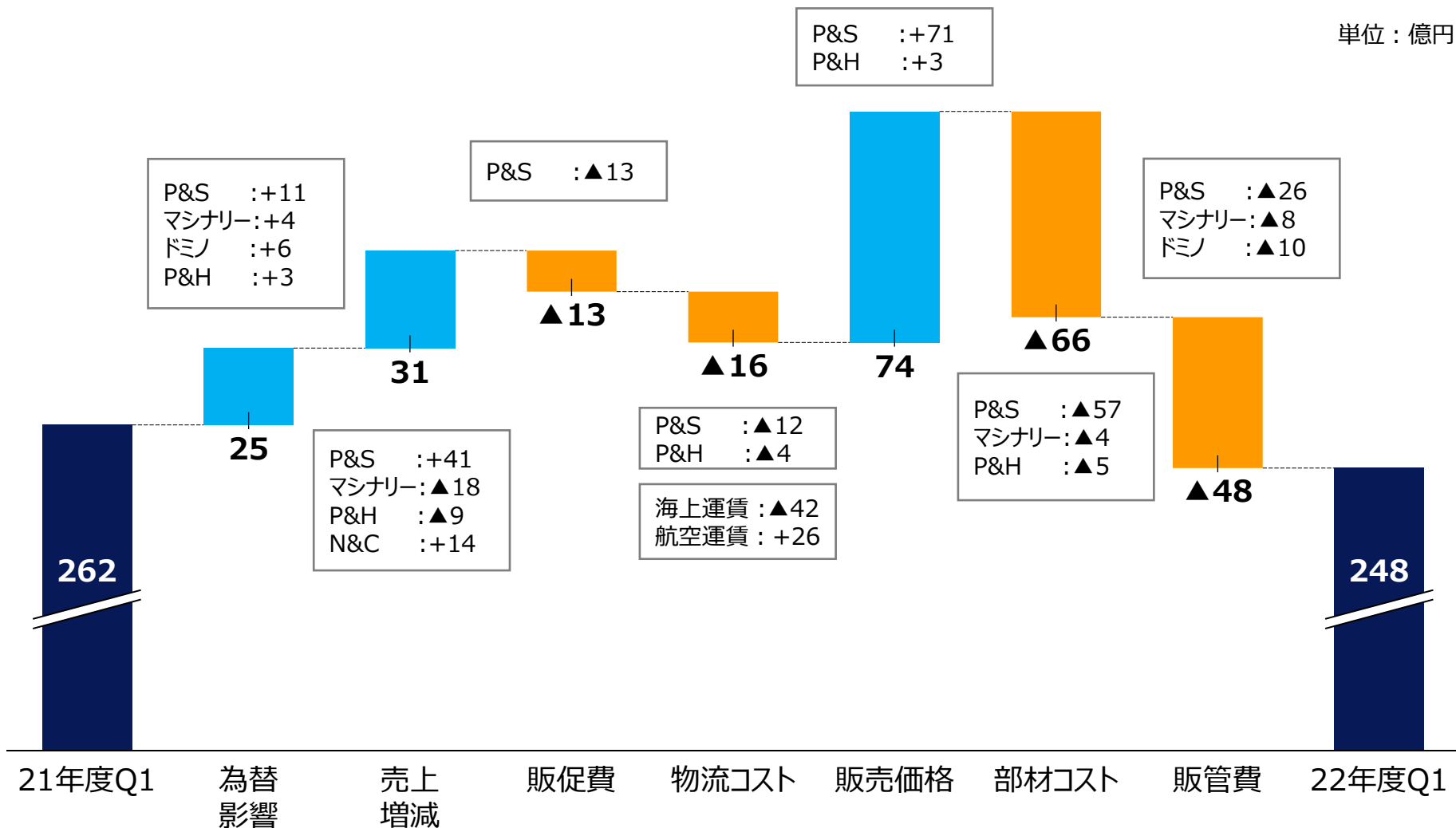
単位：億円



※増減額は為替影響を除いた実質ベース

2022年度第1四半期 事業セグメント利益の増減要因

主にP&S事業における価格対応の効果や売上増、為替のプラス効果があったものの
部材・物流コストの高騰に加え販管費の増加により、減益となる



2022年度 通期業績予想

為替前提、セグメント内訳も含め、前回予想から変更なし

単位：億円

	21年度 実績	22年度 予想	増減	増減率 ()は為替影響 除く増減率
売上収益	7,109	7,750	641	9.0%
事業セグメント利益	846	730	▲116	-13.7%
事業セグメント利益率	11.9%	9.4%		
その他の収益・費用	9	0	▲9	
営業利益	855	730	▲125	-14.6%
営業利益率	12.0%	9.4%		
税引前利益	864	730	▲134	-15.5%
親会社の所有者に帰属する当期利益	610	510	▲100	-16.4%
USD	112.86	122.00	9.14	
EUR	131.01	133.00	1.99	

2022年度通期 事業セグメント別予想（前年度比）

単位：億円

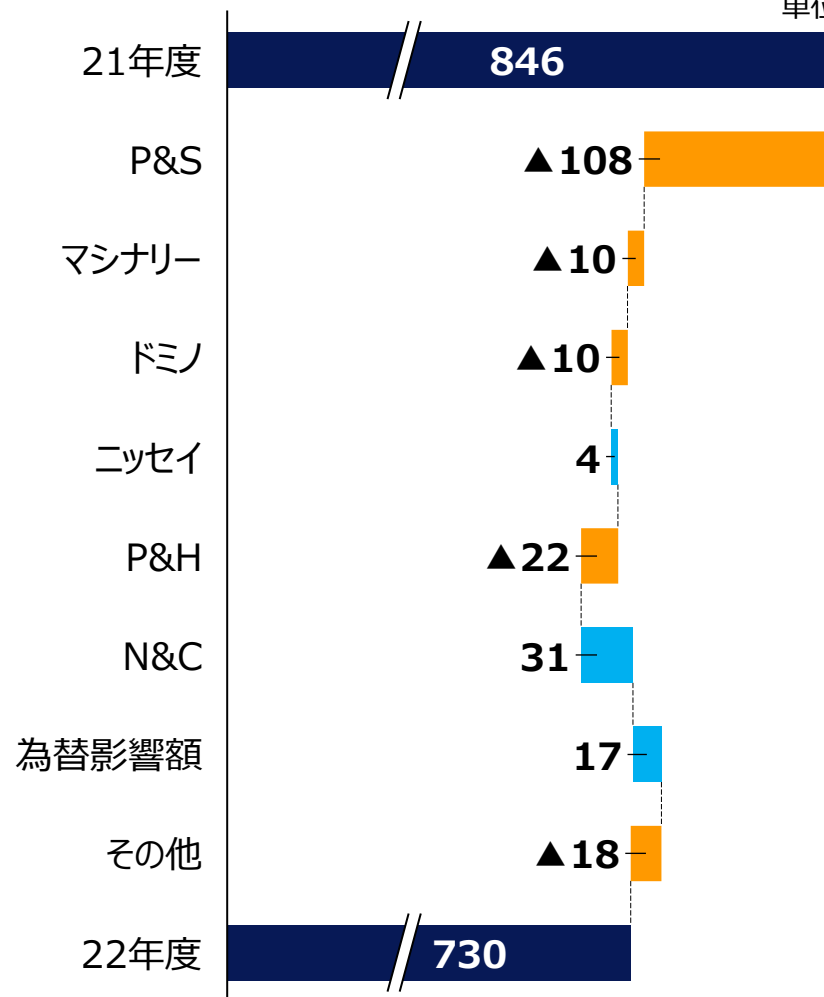
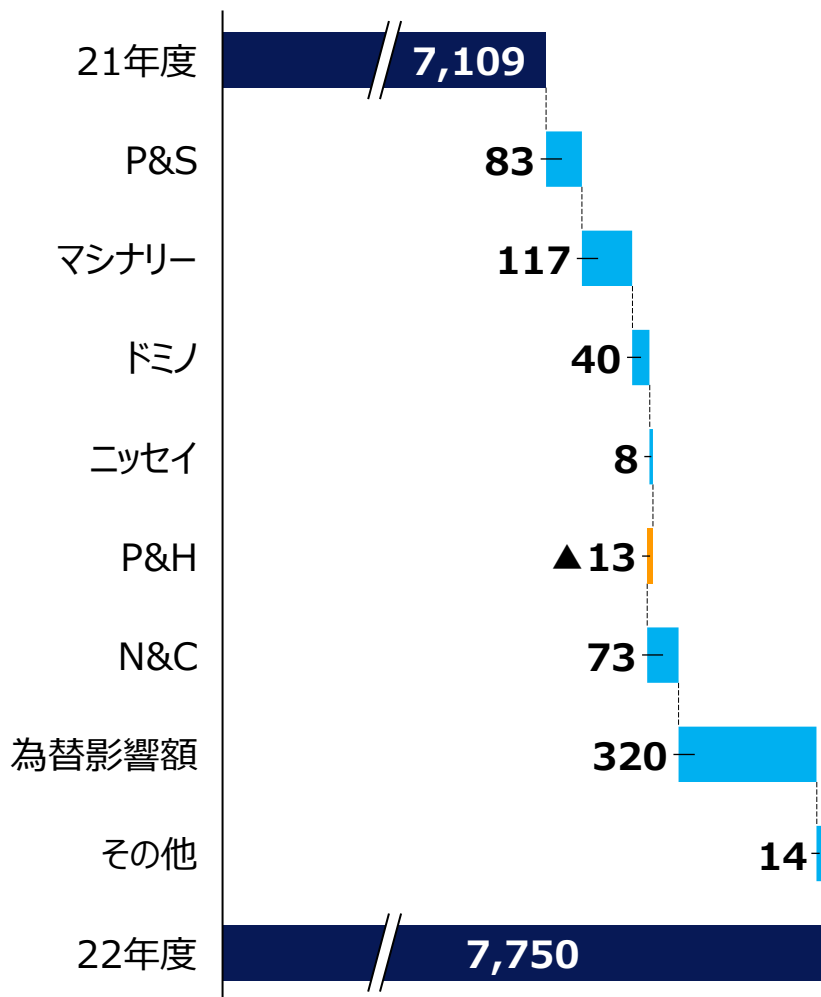
	売上収益			事業セグメント利益			営業利益		
	21年度実績	22年度予想	増減	21年度実績	22年度予想	増減	21年度実績	22年度予想	増減
P&S	4,242	4,553	311	598	485	▲113	594	485	▲109
マシナリー	905	1,070	165	126	135	9	126	136	10
ドミノ	847	900	53	52	43	▲9	43	42	▲1
ニッセイ	207	220	13	14	18	4	13	16	3
P&H	500	513	13	81	60	▲21	82	60	▲22
N&C	296	369	73	▲27	4	31	▲6	4	10
その他	111	125	14	4	▲15	▲19	3	▲13	▲16
合計	7,109	7,750	641	846	730	▲116	855	730	▲125

※セグメント間取引消去額は含めておりません。

売上収益の増減

事業セグメント利益の増減

単位：億円



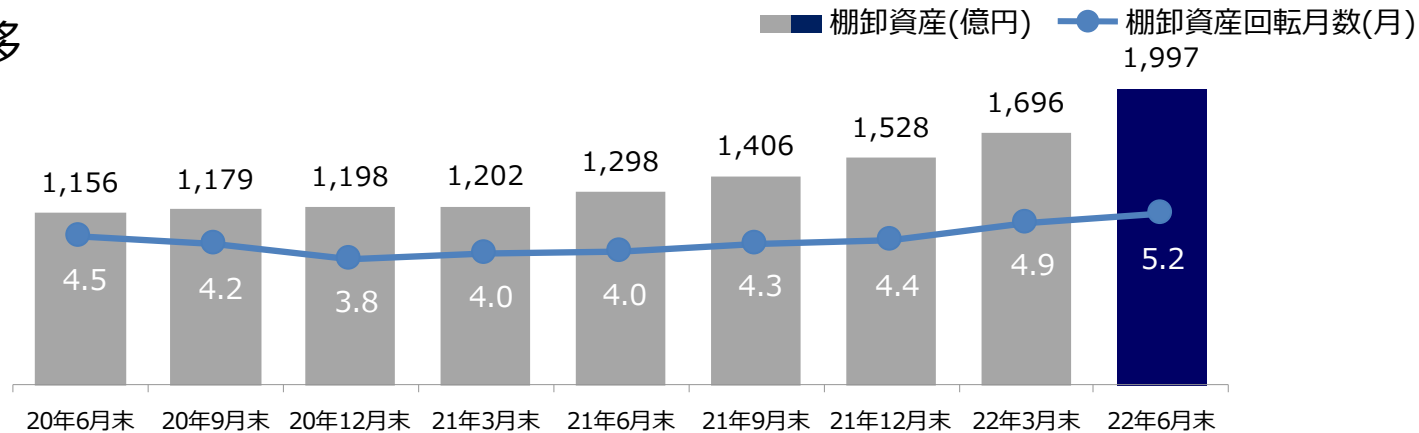
※増減額は為替影響を除いた実質ベース

単位：億円

	22年 3月末	22年 6月末	増減
流動資産	4,767	5,035	268
現預金	1,679	1,464	▲215
棚卸資産	1,696	1,997	301
非流動資産	3,344	3,481	137
負債合計	2,499	2,561	61
有利子負債	408	451	42
株主資本	5,611	5,955	343
総資産	8,111	8,516	405

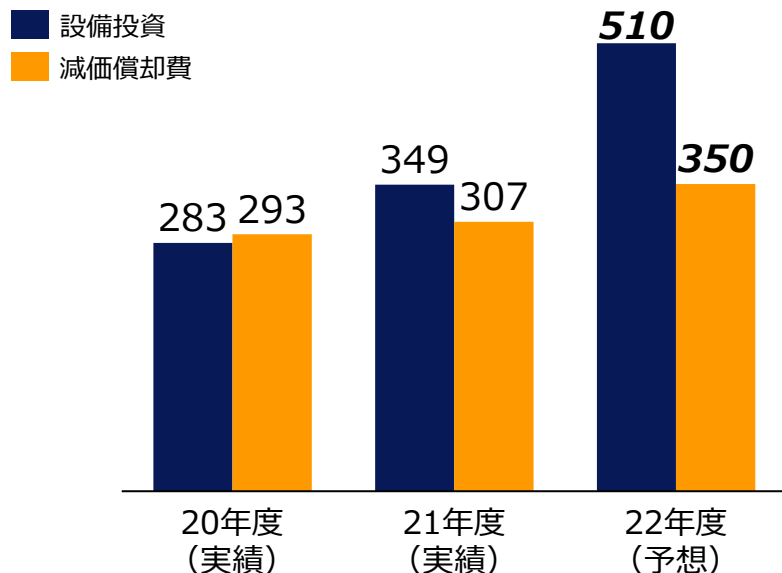
	22年 3月末	22年 6月末	増減
ネット・キャッシュ	1,271	1,013	▲258
株主資本比率	69.2%	69.9%	0.7%
ROE	11.7%	-	-

棚卸資産推移

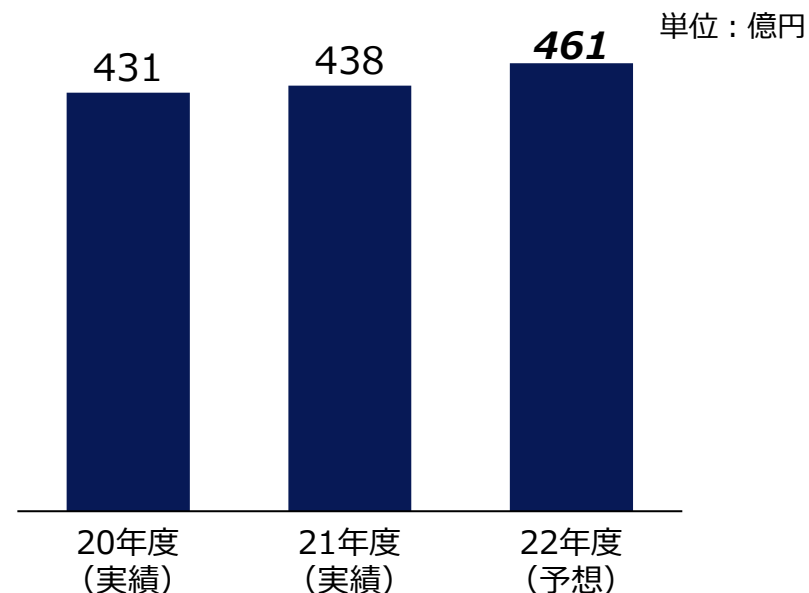


※棚卸資産回転月数 = 棚卸資産 ÷ (1ヶ月平均売上原価)

設備投資・減価償却費



研究開発費



設備投資内訳

	20年度	21年度	22年度
産業用領域	52	68	113
民生用領域他	231	281	397
計	283	349	510

研究開発費内訳

	20年度	21年度	22年度
産業用領域	91	103	129
民生用領域他	340	335	332
計	431	438	461

*産業用領域は、マシナリー事業、ドミノ事業、ニッセイ事業の内訳を合算したものです。

セグメント業績概要

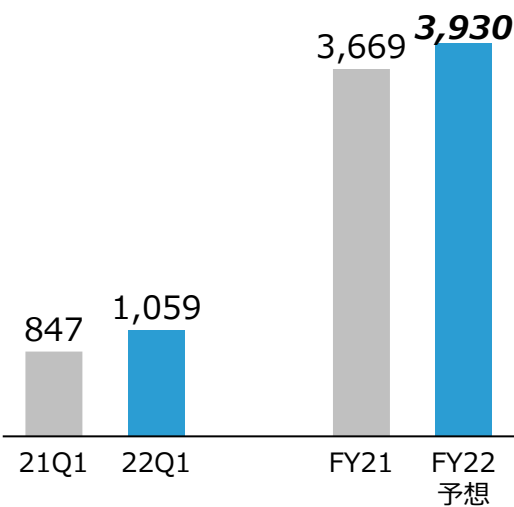
プリンティング&ソリューションズ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

単位：億円

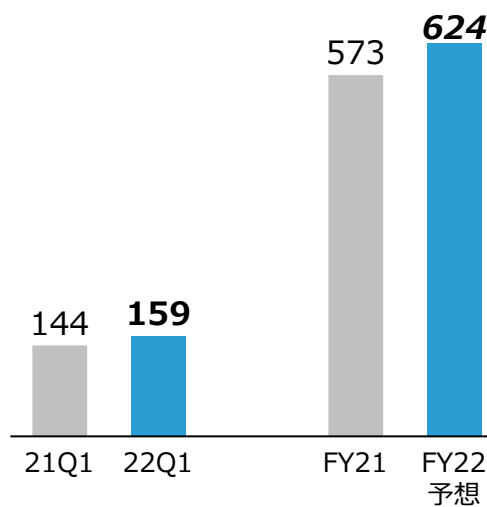
	21Q1	22Q1	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	991	1,218	23.0%	11.0%
通信・プリンティング機器	847	1,059	25.0%	13.0%
ラベリング	144	159	10.8%	-0.7%
事業セグメント利益	164	179	9.0%	-
営業利益	163	169	3.6%	-

	FY21	FY22 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	4,242	4,553	7.3%	2.0%
通信・プリンティング機器	3,669	3,930	7.1%	1.8%
ラベリング	573	624	8.7%	3.2%
事業セグメント利益	598	485	-18.8%	-
営業利益	594	485	-18.4%	-

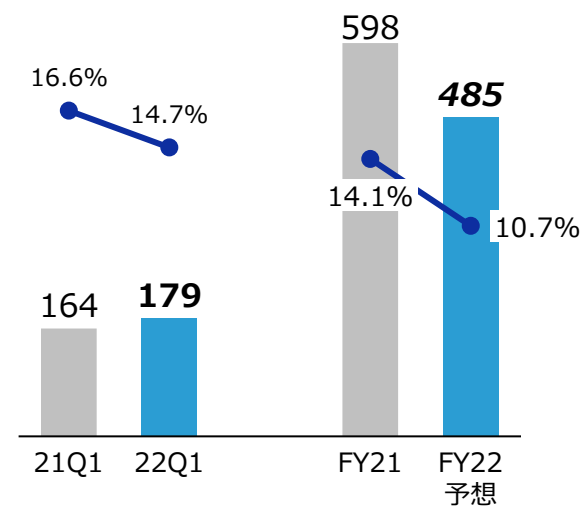
<売上収益>
通信・プリンティング機器



ラベリング



<事業セグメント利益> ● 利益率



プリンティング&ソリューションズ事業 主要製品別売上伸び率・構成比

	20Q1	20Q2	20Q3	20Q4	21Q1	21Q2	21Q3	21Q4	22Q1	22Q2	22Q3	22Q4	20通期	21通期
LBP														
売上伸び率（円ベース/前年比）														
本体	6%	19%	18%	18%	-10%	-4%	-9%	-8%	41%	-	-	-	15%	-8%
消耗品	-18%	1%	0%	-1%	21%	15%	14%	16%	18%	-	-	-	-5%	16%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）														
本体	11%	22%	21%	18%	-16%	-9%	-15%	-13%	28%	-	-	-	18%	-13%
消耗品	-15%	2%	2%	-3%	12%	9%	6%	9%	7%	-	-	-	-4%	9%
IJP														
売上伸び率（円ベース/前年比）														
本体	-37%	-49%	-12%	-3%	90%	95%	17%	15%	18%	-	-	-	-25%	45%
消耗品	-23%	-1%	9%	-6%	11%	-6%	-3%	2%	19%	-	-	-	-5%	0%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）														
本体	-33%	-48%	-9%	-3%	79%	87%	11%	10%	8%	-	-	-	-23%	38%
消耗品	-20%	-1%	10%	-8%	5%	-10%	-7%	-2%	11%	-	-	-	-5%	-4%
消耗品比率	55%	57%	55%	56%	56%	57%	58%	59%	53%	-	-	-	55%	57%
販売台数伸び率（前年比）														
LBP	12%	10%	6%	0%	-28%	-16%	-20%	-16%	14%	-	-	-	7%	-20%
IJP	-39%	-57%	-24%	-25%	65%	101%	1%	7%	8%	-	-	-	-36%	34%

マシナリー事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

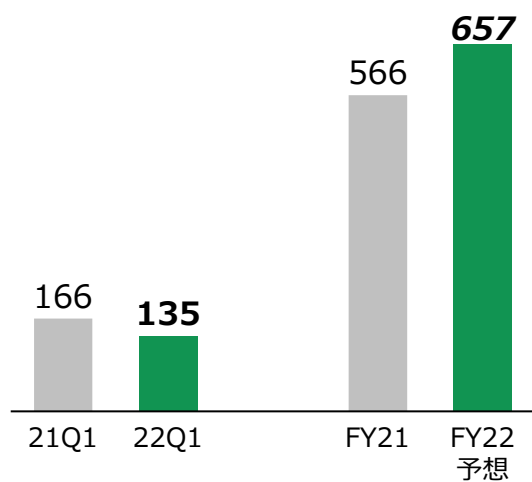
単位：億円

	21Q1	22Q1	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	254	234	-7.6%	-14.2%
産業機器	166	135	-18.3%	-21.5%
工業用ミシン	88	99	12.5%	-0.3%
事業セグメント利益	47	21	-55.4%	-
営業利益	46	24	-47.2%	-

	FY21	FY22 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	905	1,070	18.1%	12.9%
産業機器	566	657	16.1%	12.1%
工業用ミシン	340	413	21.5%	14.2%
事業セグメント利益	126	135	7.3%	-
営業利益	126	136	8.1%	-

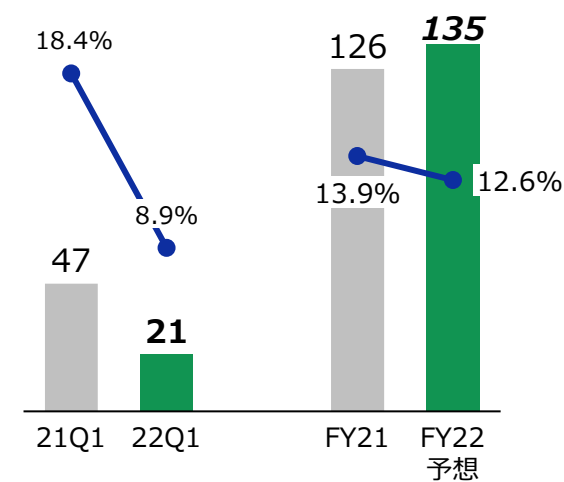
<売上収益>
産業機器

工業用ミシン



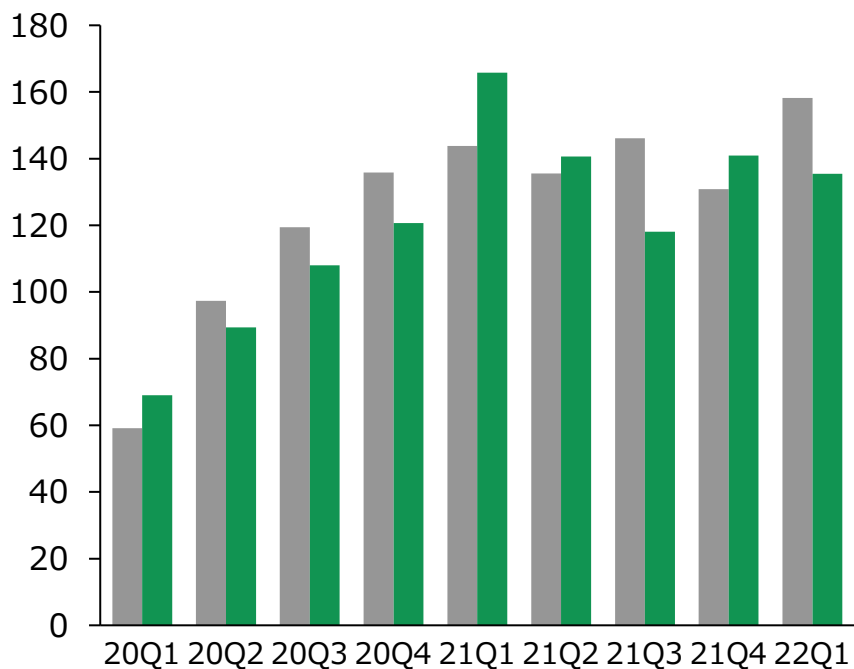
<事業セグメント利益>

● 利益率



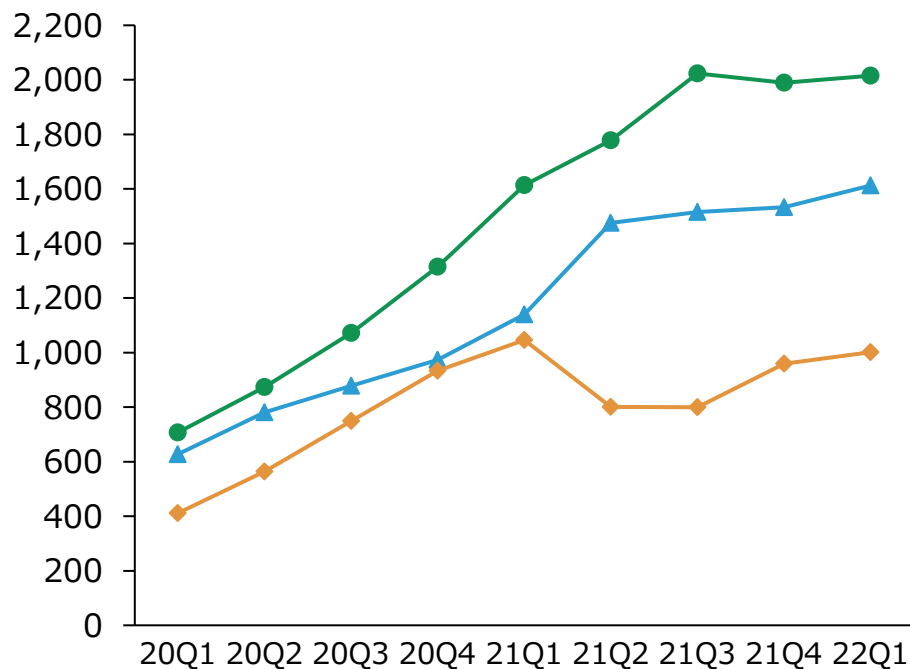
受注額・売上収益の推移

■ 受注額 ■ 売上収益



(参考) 日工会受注統計

▲ 内需 ● 中国を除く外需 ◆ 中国



※国内・海外の製品本体の受注額合計
海外受注額は各四半期の為替レートにて円換算

※出所：（一社）日本工作機械工業会 工作機械主要統計より

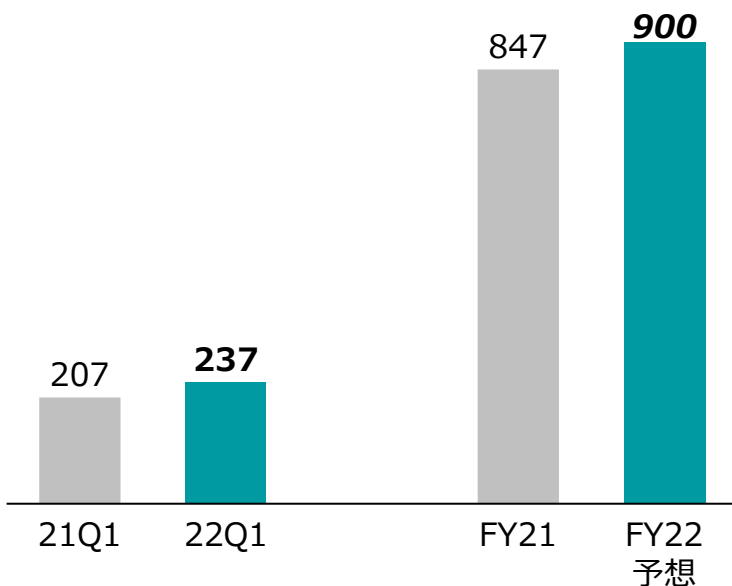
ドミノ事業

売上収益・事業セグメント利益・営業利益

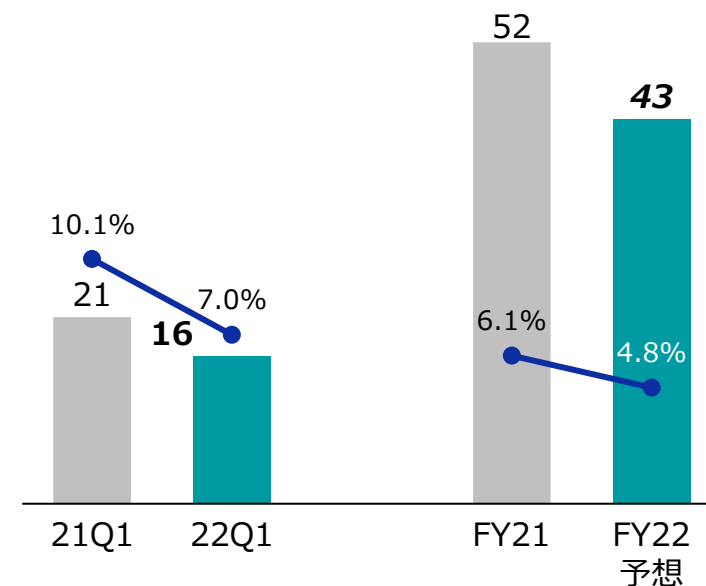
単位：億円

	21Q1	22Q1	増減率	為替影響 除く増減率	FY21	FY22 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	207	237	14.5%	4.6%	847	900	6.2%	4.7%
事業セグメント利益	21	16	-21.0%	-	52	43	-16.7%	-
営業利益	21	20	-5.2%	-	43	42	-2.5%	-

<売上収益>



<事業セグメント利益> ● 利益率



ニッセイ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

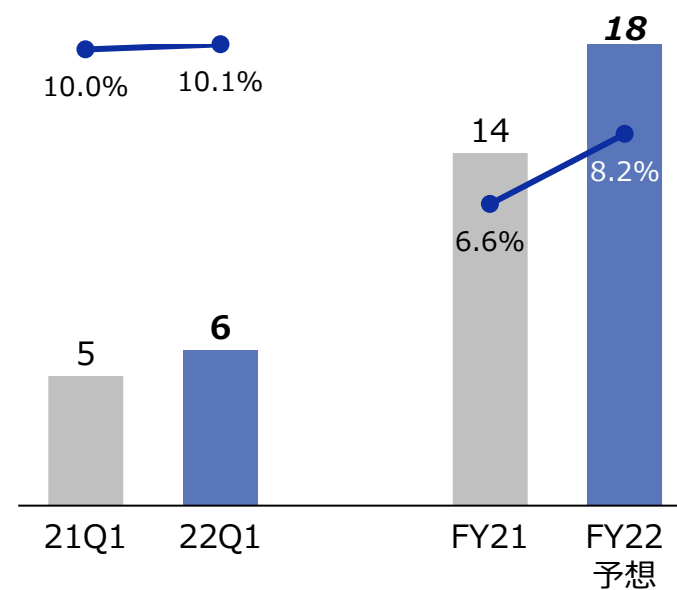
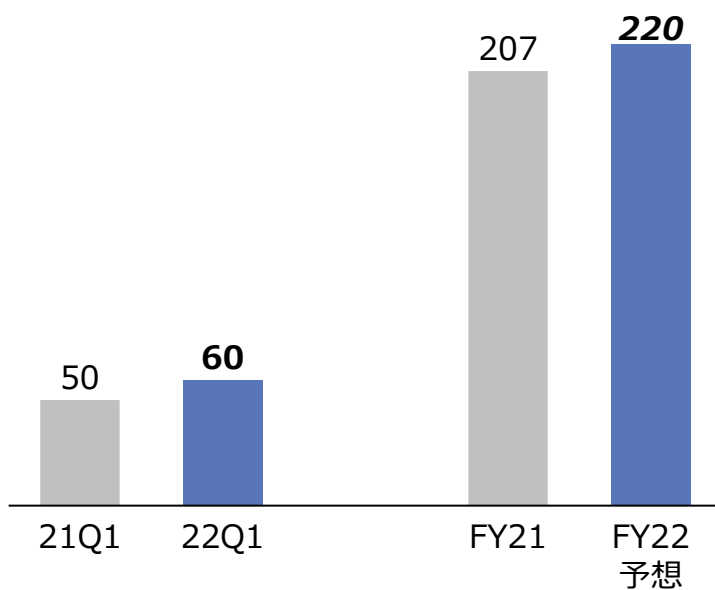
単位：億円

	21Q1	22Q1	増減率	為替影響 除く増減率	FY21	FY22 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	50	60	18.8%	14.4%	207	220	6.1%	3.8%
事業セグメント利益	5	6	20.2%	-	14	18	30.8%	-
営業利益	5	7	27.4%	-	13	16	18.6%	-

<売上収益>

<事業セグメント利益>

● 利益率



パーソナル&ホーム事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

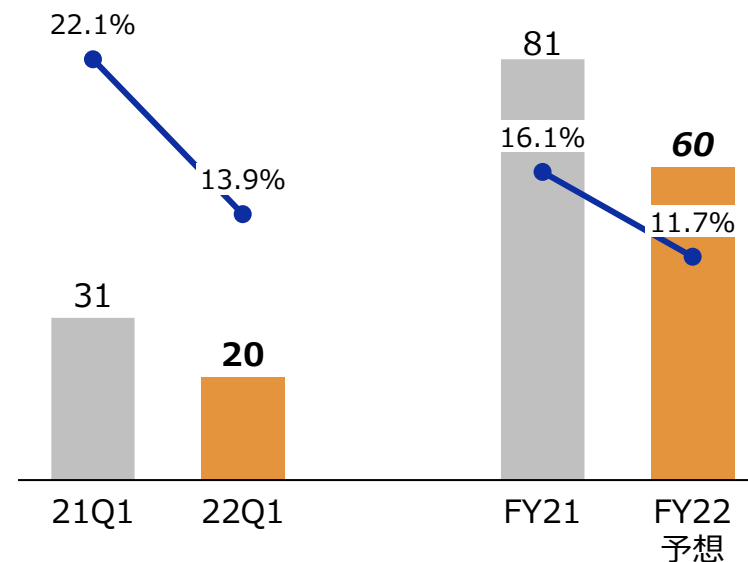
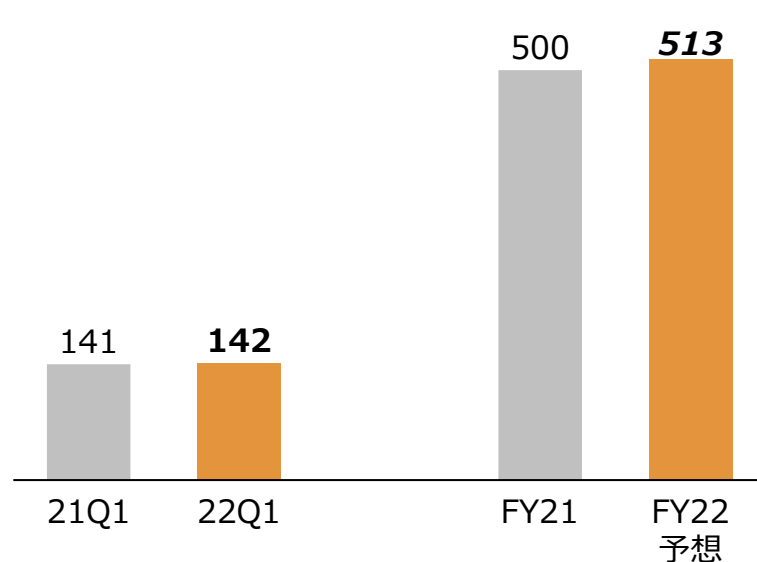
単位：億円

	21Q1	22Q1	増減率	為替影響 除く増減率	FY21	FY22 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	141	142	0.7%	-9.9%	500	513	2.6%	-2.6%
事業セグメント利益	31	20	-36.4%	-	81	60	-25.7%	-
営業利益	31	20	-35.1%	-	82	60	-26.9%	-

<売上収益>

<事業セグメント利益>

●— 利益率

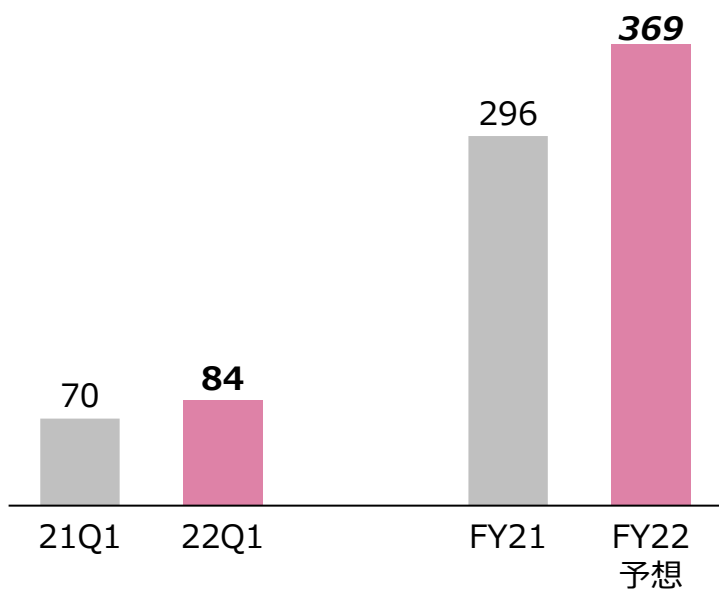


ネットワーク&コンテンツ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

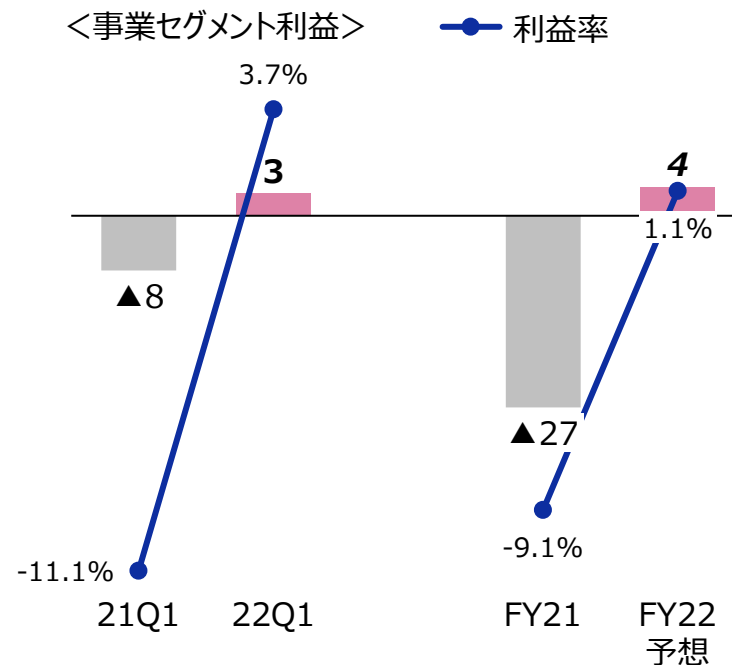
単位：億円

	21Q1	22Q1	増減率	FY21	FY22 予想	対前年 増減率
売上収益	70	84	20.9%	296	369	24.8%
事業セグメント利益	▲8	3	-	▲27	4	-
営業利益	▲3	7	-	▲6	4	-

<売上収益>



<事業セグメント利益>



ESGトピックス

ブラザーインダストリーズ（スロバキア）がカーボンニュートラル拠点到認定
ブラザーグループの生産拠点としては、ブラザーインダストリーズ（U.K.）に続く2例目の認定



ブラザーインダストリーズ（スロバキア）外観
事業内容：トナーカートリッジの回収、リサイクル等

■ CO₂排出削減に向けた主な取り組み

- **地熱交換システム**を利用した空調の活用をはじめとするオフィス・工場における省エネ活動
- **太陽光パネル設置**による創エネ活動
- 発電時にCO₂を排出しない**CO₂フリー電力**の購入

同社のスコープ1、2*がカーボンニュートラル認定基準を満たす

*スコープ1・・・事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
スコープ2・・・他者から提供された電機、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
スコープ3・・・スコープ1、スコープ2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他者の排出)

様々なESGインデックスの2022年の構成銘柄に選定

「FTSE4Good Index Series」、 「FTSE Blossom Japan Index」3年連続選定



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan

「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」選定



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

「MSCI 日本株女性活躍指数(WIN)」 4年連続選定

2022 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

「SOMPOサステナビリティ・インデックス」 11年連続選定



Sompo Sustainability Index

brother
at your side

【参考】ブラザーの事業領域

ビジネス領域

事業

分野（主な製品・サービス群）

ビジネス領域	事業	分野（主な製品・サービス群）
産業用領域	マシナリー・FA領域	 <p>減速機 歯車 工作機械 工業用ミシン</p>
	産業用印刷領域	 <p>ガーメントプリンター コーディング・マーキング機器 デジタル印刷機</p>
民生用領域	プリンティング領域	 <p>業務用ラベルプリンター モバイルプリンター ラベルライター プリンター 複合機</p>
	ホーム・カルチャー領域	 <p>家庭用ミシン カuttingマシン 通信カラオケ機器</p>